

2025 年 5 月 16 日（金）熊本日日新聞に掲載されました。
来る 6 月 15 日の大会に向けて稽古に余念がない教室の皆さん。

総合

令和 7 年(2025年) 5 月 16 日 金曜日

熊本 2

楊名時太極拳 稽古に熱

県支部40周年
来月、記念大会



6月の大会に向け稽古に励むNPO法人日本健康太極拳協会熊本支部の会員ら。11日、熊本市中央区

日本の武道と融合させ、健康に重点を置いた「楊名時太極拳」の普及活動に取り組むNPO法人日本健康太極拳協会熊本県支部が設立40周年を迎えた。同支部の会員たちは、全国から愛好者が集い6月15日に熊本市で開かれる記念大会に向けて稽古に励んでいる。

同支部は1985年に活動を開始。中国出身の故楊名時さんが、中国の「簡化二十四式太極拳」に独自の工夫を加えて完成させた楊名時太極拳の愛好者約300人が所属している。現在、熊本市中央区の振武館で定期的に活動している。

同支部によると、ゆったりとし

た動きと呼吸法で心と体を整える楊名時太極拳に取り組む教室は県内に約160カ所あり、愛好者は計約1300人。「健康を維持するには努力しないといけない」と同支部の荒木ひとみ顧問(77)。

6月の大会は、楊さんの生誕100年と熊本県支部の創設40年を記念して熊本市総合体育館で開く。全国から約800人が集まり、全員で演武するほか、師範による模範演武の披露などがある。江藤律子支部長(72)は「参加者の研さんの場として、日頃の練習に生かしてほしい」と話している。

(松田嵩史)